

こうして3日間、自分が思っていたこととはまったく違うとても貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。ここで学んだことは今後の中学校生活、大人になっても絶対に役立つことなので決して忘れずどんどん学んだことをいかしていこうと思います。3日間本当にありがとうございました。

(J. M.)



「チャレンジ体験の感想」

私は京都外国語大学の図書館でたくさん学ばせていただきました。図書館の仕事の裏側が知れました。決して簡単ではなく大変なことがわかりました。大変だけど楽しくやるということもわかりました。裏側ではこんなことをしているんだと知り、それぞれ違う作業をして仕事ができているんだなと思いました。図書館で本を探したりもとの位置に戻したりすることができるようになったので学校などの図書室で生かしたいです。

本に蔵書印をおしたり、本をもとに戻したりと難しい作業でしたがやっていくうちに慣れてとても楽しかったです。最終日の展示会ではちりめん本を初めて見てとてもおもしろかったです。ちりめん本はすごく古い物でそれを見て本当に良い経験になりました。

私はあまり本は好きではなかったのですが、今回の体験ですごく興味を持ちました。チャレンジ体験を通して仕事に対する思いが良くなり、仕事とはとても大変だけどこんなに楽しいものなんだと知れて本当に良い経験になり、本当に良かったです。3日間というとても短い間でしたがお世話になり本当にありがとうございました。

(H. N.)

「チャレンジ体験から学んだこと」

私はこのチャレンジ体験で京都外国語大学に来て本当に良かったと思います。私は小さいころから本が大好きでした。なのでこのチャレンジ体験も本に関われる所に行きたいと思い、京都外国語大学に来ました。普通の図書館で私は貸し出しの仕事のことしか知りませんでした。ですが図書館の内部の仕事の大変さ、大切さなどを知り、改めて仕事の難しさを知ることができました。

また大人の世界の厳しさというのもわかりました。中学生なら、まだ子どもだからといって許されること

も大人にとっては仕事ができない、礼儀が悪い、などと思われてしまうのだと知ることができました。2日目は3日目に行く展示会の準備をしました。そこでちりめん本という貴重書のことを初めて知り、さわらせていただく、という本当に素晴らしい経験をさせていただきました。普通では見れないような本を見せていただき、良かったです。

私はこのチャレンジ体験でたくさんのことを知ることができました。そして事務室の方はみんな優しいので3日間はあっという間でした。でも楽しむことができた反面たくさん迷惑をかけてしまいました。これを将来、生かせるようにしたいと思います。

最後にこんな貴重な体験をさせていただいた京都外国語大学のみなさん、3日間本当に有難うございました。

(K. O.)



「3日間のチャレンジ体験を終えて」

京都外国語大学の方々のみなさん、3日間ありがとうございました。

僕はこのチャレンジ体験で学べたことが2つあります。1つ目は、仕事の大変さです。この体験の中で自分は、蔵書や発注・受入業務・重複しているかどうかや本の貸し出しなどをして大変だったからです。2つ目は、仕事の楽しさです。たくさん仕事をして苦労したけど終わった後の達成感や楽しさが良かったからです。

チャレンジ体験で自分が成長したことが2つあります。1つ目は自分で行ったことはしっかりと自分で責任をとることです。色々なことを学ばせてもらったけど時には事務室の方々に手伝わってもらったりしたからです。2つ目は、何事にも挑戦することです。発注・受入の仕事の時に「〇〇したい人」と言われたときに自分から進んでできたからです。

京都外国語大学には、約60万冊以上の本があり、市民の人からもよく使われるという話を聞いてすごいなと思いました。展示会では初めて見た桃太郎を外国語で訳したものを見ておどろきました。

京都外国語大学付属図書館の方々には、お世話になって成長できたことや初めて知ったことがたくさんあって良いチャレンジ体験になったかなと思います。このチャレンジ体験でした事を生かして今後の中学校生活で頑張っていきたいです。

(S. S.)